

【問2】（環境マネジメント）

1. 環境マネジメントに関する以下の文書の空欄(1)から(16)に適切な語句を、以下の語群から選択しなさい。なお、同じ番号の空欄には、同じ語句が入る。

CSRは( 1 )と訳され、「企業活動のプロセスに社会的公正性や倫理性、( 2 )や人権への配慮を組み込み、( 3 )に対して( 4 )を果たしていくこと」とされている。現代の企業は、最低限の( 5 )や利益貢献といった責任を果たすだけでなく、( 3 )と呼ばれる市民、地域、取引先、NPOなどの意見を汲み取り、彼らとの( 6 )を通じて、社会貢献や環境配慮などを自主的に行う姿勢を持つように変化している。昨今、CSRの対象となる範囲や活動は広がっている。

これに対して、環境マネジメントとは「環境方針を決め、環境対応する組織を整え、( 7 )を達成するように持続的に行う」活動である。環境マネジメントに関する規格としては、環境省が策定したエコアクション21や、国際規格の( 8 )が知られている。( 8 )では、まずトップマネジメントが全社的な環境方針を策定し、環境影響を調査、把握して、法的その他の要求事項も考慮して、実施計画を作成する。作成した計画に基づいて実施と運用を行う。その後、モニタリング(測定)及び( 9 )を行い、不具合事項の是正を行う。さらに、その結果に基づいて、マネジメントシステムの( 10 )を行う。環境影響削減のための、これら一連のサイクルを、略称として( 11 )サイクルと呼ぶ。( 11 )とは、具体的には、英語では( 12 )、( 13 )、( 14 )、及び( 15 )のことである。

( 11 )においては、企業自らが行ってきた活動の自己( 9 )、第三者( 9 )が重要である。そして、環境情報の( 16 )が必須となる。

語群

ステークホルダー	ISO14001	do	対話や情報公開	開示	評価	環境
plan	コンプライアンス	action	見直し	企業の社会的責任	環境目的	
PDCA	アカウンタビリティ	check				

2. 環境マネジメントに関する以下の問いに答えよ。

(1) 企業経営を、私的な営利追求と社会的な貢献や責任の両立のために、3側面から管理する手法のことをトリプルボトムライン経営と呼ぶが、この3側面とは何か。3つ答えよ。

(2) 企業が自発的に環境マネジメントシステムを導入する理由として何が考えられるか。1つ答えよ。

- (3) 2007年に日本で閣議決定された21世紀環境立国戦略では、地球温暖化、資源浪費、及び生態系劣化の3つの危機に対応して、目指す3つの社会像が提示されている。低炭素社会以外の2つは何か。末尾に「社会」をつけて答えよ。